

文化財学習会

# ふるさと探訪

テーマ 太田から鹿角を歩く

講師 藤井 雄三  
(高松短期大学講師)

平成27年12月20日(日)

共催 高松市歴史民俗協会  
高松市文化財保護協会  
高松市教育委員会

## 1 延命地藏

江戸初期に、仏生山の法然寺に安置する大小二躰のお地藏様を運ぶため、藩主一行が道池付近を通った。しかし、大きいお地藏様を乗せた荷車が急に動かなくなったため、占者が見てみると、「ここは見晴らしがよく、人の往来が多いので、人々の救済には格好の場所だ」とのお告げがあり、大きいお地藏様をこの地へ安置したという。

## 2 太田競馬場碑

道池の南側に石碑があり、大正十四年（一九二五）の廣田八幡神社春祭りにて消防団、在郷軍人、青年団等が主催して競馬を行ったと言われている。走路は神社の裏から道池の土手を東に向かって一直線に三頭ずつで競争していた。走り終わった馬は、池の周りを通



太田競馬場碑

り、元の位置からまた走っていたという。この行事が毎年行われていたかなど詳細は不明である。

### 3 廣田八幡神社

廣田八幡神社は大字太田全域の氏神で、その起源は不明である。

御祭神は応神天皇（おうじんてんのう）、神功皇后（じんぐうこうごう）、玉依姫（たまよりひめ）の三神であり、その創建はきわめて古いが、詳細は明らかになっていない。伝えるところによれば、中臣太田連なかとみむらじ、天兒屋根命あめのこやねのみことの一三世の子孫とされる御身宿弥おみのすくねによって当神社が祀られたとされる。

江戸時代以前の神仏混淆こんこうの時には、高松の石清尾八幡宮の供僧西願寺が祭を司っていた。「古今讃岐名勝図絵」には、寛永六年（一六二九）に社殿、古記、宝物などを焼失し、その後再建されたとある。初めは太田八幡といわれたが、のちにいまの社号に



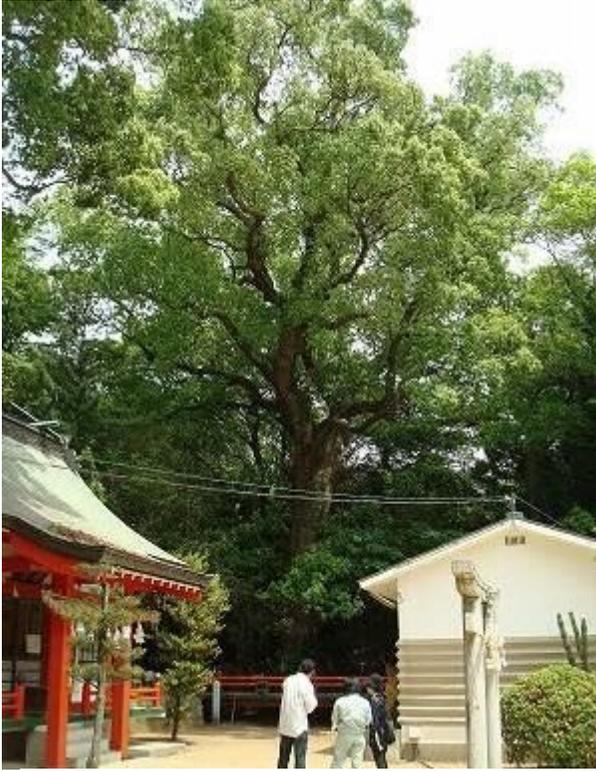
廣田八幡神社

変えたという。なお境内末社としては、仁徳天皇を祭る若宮神社のほか、大正五年（一九一六）に、同地の古健神社を、同十二年（一九二三）同地の藤木神社をそれぞれ合祀している。

氏神さんの祭りは年二回行われ、五月十二日が春祭り（現在は五月五日）、十月十一日・十二日が秋祭りである。

## 【鎮守の森】

近隣住民の憩いの場となっている鎮守の森には、都市近郊では見られなくなった緑豊かな大木や貴重な植物が勢いよく繁っている。上層にはクスノキ・ムクノキが優占



廣田八幡神社境内のクスノキ

し、他にもツブラジイ・クロガネモチ・センダン・クヌギ・クロマツ等の大木も見られ、中層以下には、ヤブツバキ・ヤブニツケイ・ネズミモチ・ヒサカキが多い。若宮神社の北側には、樹高二十メートル、幹回り四・四五メートルもの大きなクスノキがあり昭和五十二年に市の名木条例に基づき「高松市の名木」に指定されている。また、

市の名木であるクスノキ  
周辺以外の森が、大変良い  
状態で保存された常緑広  
葉樹林の社叢であるため、  
昭和五十九年三月に県自  
然記念物に指定されてい  
る。



法恩寺

法恩寺は万堂新居家の菩提寺であり、永正元年（一五〇四）新居家十九代目の資親すけちかが再興したものである。万堂新居家は香西氏などと同じく、讃岐藤氏の系統であり、屋島合戦では源義経の陣営に参じ、「吾妻鏡」にその名をとどめた新居藤大夫資光すけみつの第四子資秀すけひでを祖としているので、法恩寺の開祖となった資親も武士として東軍の大將であった細川勝元（一四三〇〜一四七三）に従い応仁の乱（一四六七〜一四七七）に出陣し、京都六篠合戦で武功を挙げた。後、本願寺の蓮如上人（一四一五〜一四九九）に帰依し、帰国して鹿角村に菩提寺を再興した。これが法恩寺であり、資親は武人でありながらも、易行道念仏の行者として「浄願」と号し、法恩寺の始祖となった。

本堂には延宝六年（一六七八）五月二十日本願寺寂如上人御免の阿弥陀如来尊像を安置しており、御宮殿は安政五年（一八五八）一宮村白井善六氏の寄進である。現在の本堂は文政十一年（一八二八）の建築であり、これより以前には享保五年（一七二〇）建立の本堂があった。現在、境内地にある最古の建造物は享保二十年（一七三五）建立の鐘堂である。また、納骨堂は文化元年（一八〇四）建立の経蔵を昭和三十二年に改修し、壁面には、檀紙町出身の画家野生司香雪の揮毫による「補陀落山図」を掲示しており、本堂にも野生司香雪筆の印度ヒマラヤ雪山図が描かれた襖絵八枚がある。

【野生司香雪（一八八五〜一九七三）】

東京芸術大学日本画科卒業。仏教美術研究

のためインドに渡り、アジャンタの壁画模写、

インド・サルナートの初転法輪寺壁画製作を

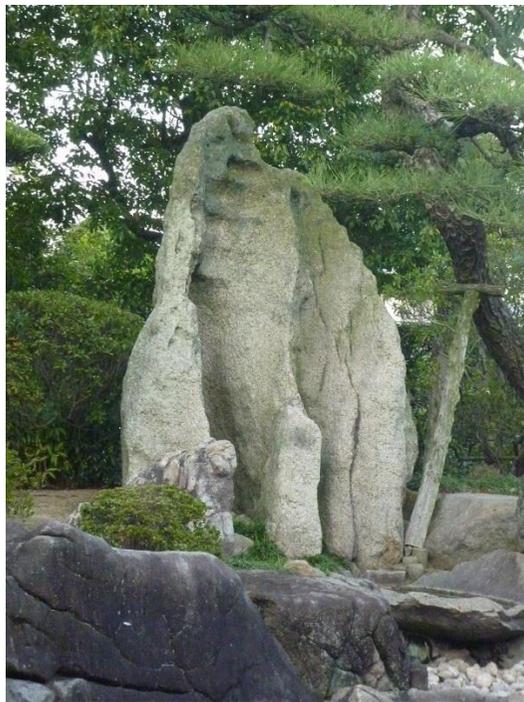
経て、仏教協会より仏教美術賞を受賞した。



法恩寺の襖絵

## 【藩主寄贈の庭石】

法恩寺は一向宗のため、お御堂も広いが、境内も広く、本堂の前庭には、殿様から拝領したと伝えられる大きな庭石がある。付近にあったとされる勅使御殿にあったものと言われている。



法恩寺の庭石

長い井戸がわや庭石に附随した小片の石が並べられている。大きな庭石は、一見凝灰岩質のようだが、近づいてその岩質を見ると、花崗岩が分解した砂の堆積層となってきた水成岩である。

勅使御殿は現在の特別名勝栗林公園である「お林」に劣らないといわれた庭園であった。三代松平頼豊は、城内よりも、栗林又は勅使御殿で贅沢な生活を楽しんだ藩主で、高松松平家歴代中最も豪華な殿様と言われている。多くの力士を全国各地から集め、相撲を取らせて楽しんだといわれ、この庭石に相撲取りが荷って持参したという伝説が残っているのが面白い。

時の將軍綱吉の側近として権勢をほしいままにした柳沢吉保に、財宝を多数贈賄した殿様でもあった。

法恩寺は勅使御殿のあった勅使町に近いところにあるため、御殿解体の際の残石が、この庭石である可能性は非常に高い。

## 5 上免出水と鑿井さくいの碑

中世以来、田畑には一定の税率が定まっており、一定額の税のことを免といい、田



上免出水

祖を賦課するために村内の土地柄に大まかな区分をした地域を免場といった。当時、どの村にも上免・中免・下所免というのがあり、土地柄のよしあしから、課税上三等級に地域を区分していた。上所免（五割の税と免五ツ）、中免（免三ツ九分）、下所免（免二ツ八分）というように分かれており、その免（税）率が高いところほど土地柄

が良いとされていた。上所免の出水ということから「上免出水」と言われるようになったと推測される。また、この地付近は、旧太田村時代に上免という字名であった場所であり、上免出水の受益地は太田・伏石で高五百十七石四斗もあり、周辺地域の他の出水よりも石高が多かった。太田地区では鹿ノ井出水と並ぶ最大級の出水であった上免出水だが、昭和十四年（一九三九）未曾有の大旱魃によって深刻な水不足に陥り、



太田地区（旧太田村）略図



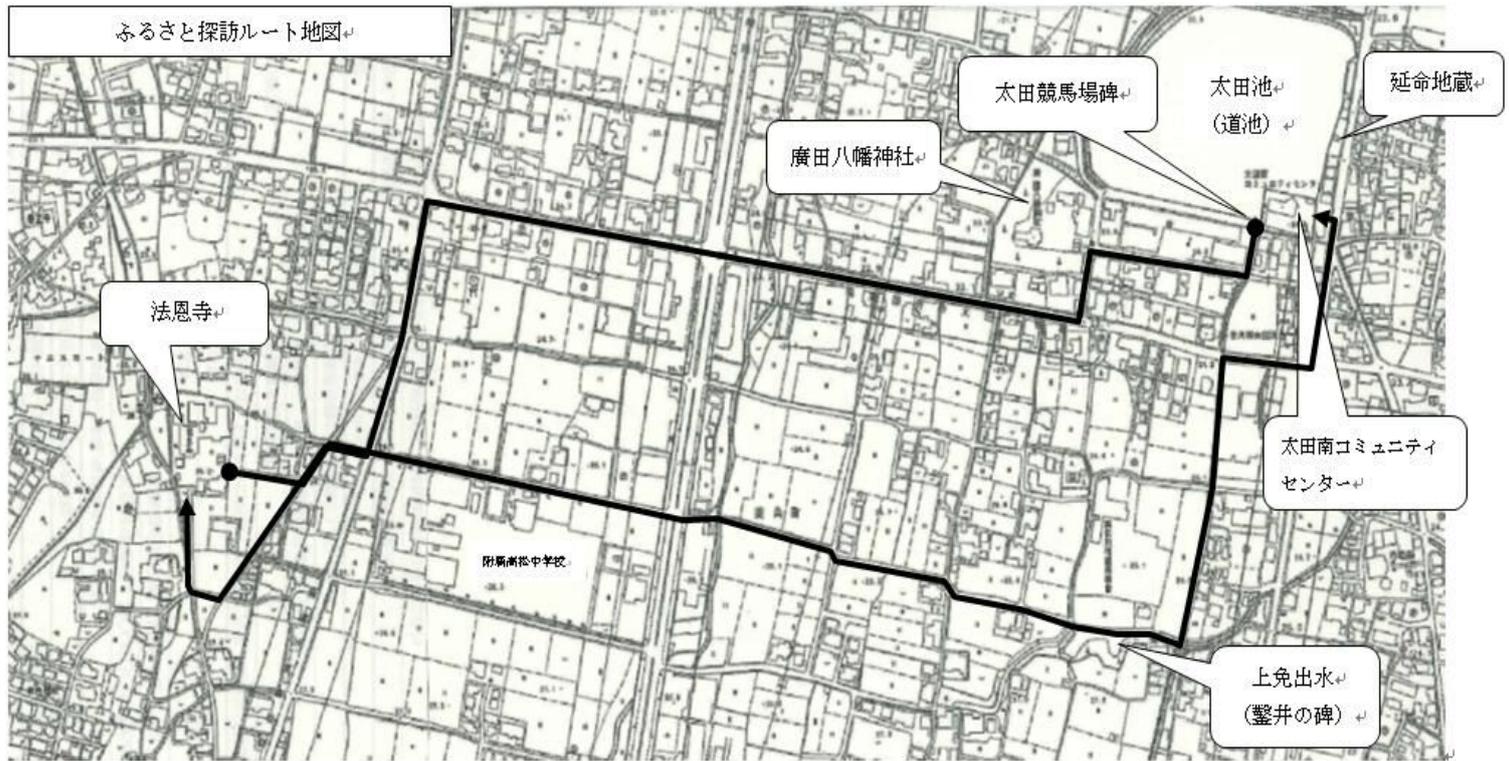
井戸（鑿井）のポンプ

周辺地域は収穫皆無という状況になった。そこで同十六年（一九四一）に出水の水を補うために井戸（鑿井）が掘られた。総工費三万八千余円をかけて、ポンプで水揚げを行う、当時としては近代的なものが設置され、今もそのポンプが残されている。ちなみに、鹿ノ井出水とは、太田地区で最も大きな出水で、どんな旱魃でも枯れたことがないと言われており、保安三年（一一二二）の大旱魃の際、白髭の老人が鹿となつて現れ、この地で泉を掘り当て、人々を救ったという伝説が残っている。

参考文献

- 現地案内版
- 太田南探訪マップ 平成二十七年年度 太田南ゆめづくり実行委員会 発行
- 法恩寺パンフレット「参拝の葉」
- 『太田農協史』 昭和五十五年五月五日 太田農業協同組合 発行
- 『讃岐香川郡志』 昭和五十三年十一月十日 発行
- 『新修高松市史Ⅱ』 昭和四十一年二月十五日 発行
- 『さぬき一宮郷土誌』 平成二年七月十一日 一宮郷土誌編集委員会 発行

みるさと探訪ルート地図



法恩寺

附屬高松中学校

廣田八幡神社

太田競馬場碑

太田池  
(道池)

延命地蔵

太田南コミュニティ  
センター

上免出水  
(鑿井の碑)

12月20日（日）太田・鹿角町からの復路

◆ことでんバス（塩江線上り）

【太田】                      【瓦町】                      【高松築港】                      【高松駅】  
12:13 発   →   12:28           →   12:37           →   12:41 着



## 次回のふるさと探訪は…

テーマ      志度町の町並みを歩く（予定）

とき              平成28年1月24日（日）

9:30～12:00頃

集合場所      さぬき市役所前

講師              砂山 長三郎さん（平賀源内記念館館長）

渡邊 寛さん（おへんろつかさの会会長）

☆公共交通機関を御利用ください。

☆広報「たかまつ」1月15日号に開催案内を掲載しますので、御覧ください。

☆小雨決行。警報発令等により中止の場合のみ、

文化財課（TEL839-2660「午前7時30分～開始時間まで」）でお知らせします。（電話が通じない場合は、「実施」です。）

---

### ★次回の交通案内★

◆ことでん琴平線下り      → 乗り換え →      ◆ことでん志度線下り  
（高松築港駅）（瓦町駅）                      （瓦町駅）（琴電志度駅）

8:15   →   8:20 <<ホーム移動>> 8:26   →   9:00

◆JR 高德線・引田行

（高松駅）      （志度駅）

8:33   →   9:02

## 「ふるさと探訪」に 参加される皆様へ



※参加中は、次のことに充分留意し、  
意義のある探訪としましょう。

- 1 交通ルールを守り、交通安全を心がけましょう。  
(必ず歩道を歩き、歩道が無いところでは、  
道路の端を一行で歩きましょう。)
- 2 無理をせず、体調には十分気を付けましょう。
- 3 引率者の指示に従い、整然と行動しましょう。
- 4 マナーを守り、他人に迷惑がかからないよう気をつけましょう。
- 5 文化財や自然を大切にしましょう。